

## 新型コロナウイルス感染症によるオンライン配信について

福岡県に緊急事態宣言が発令され、金武小学校では2学期も引き続き、毎日の検温、手指消毒の徹底、マスクの着用など日常の感染症対策の徹底し、学校教育活動を行ってまいります。

しかしながら、今回広がっているデルタ株は、非常に感染力が強く、感染リスクも高くなっています。基礎疾患や家庭の状況などから登校できない、登校が不安だという場合には、学校に連絡して下さい。この場合欠席扱いにはなりません。

今後も子どもたちの「学びを止めない」ために、オンライン授業を下記の内容で実施していきますので、よろしくお願いします。

### 記

#### 1 感染防止等のため家庭より授業視聴形態によるオンライン授業を希望する場合

##### (1) 内容

- ① 原則、黒板を使う授業を配信します。
  - ② 教室の授業の様子を見ながら自学をすることになります。従って、マイクオフでの参加となり、授業中は、質問や意見を言うことはできません。
  - ③ 朝の会、帰りの会は行いません。
  - ④ 配信時間、内容について、担任が事前に連絡します。時間になったらクラスルームに参加し、視聴します。
- ※授業配信がないときは、担任が出している課題を自分で進めてもらいます。

##### (2) 方法

- 学校で使っているタブレットと充電器を、保護者の方に学校に取りに来ていただきます。
- ※ご家庭に充電器（C-Type）がある場合は、タブレットのみの貸し台もできます。

#### 2 臨時休校・学級閉鎖の場合

##### (1) 内容

- ①朝の会
- ②2～3コマ程度の授業（1コマ30分）※その日の時間割でコマ数は変わります。
- ③帰りの会

##### (2) 方法

- 学校で使っているタブレットと充電器を持ち帰ります。児童の持ち帰りができない場合は、保護者の方に学校に取りに来ていただきます。

#### 3 留意点

- ご家庭のネット環境をご利用下さい。
  - 体調の悪いときは、無理に参加されないようにしてください。
- ※学校のネット環境によって、つながりにくい場合や途中で止まってしまうことがあります。そのときは、もういちど Meet に入り直して下さい。それでもつながらない場合は、他の課題を進めて下さい。

## 家庭における新型コロナウイルス感染症対策の徹底について

日頃より、学校における感染症対策にご理解・ご協力いただきありがとうございます。

現在、デルタ株への置き換わりが進み、福岡市においても感染者が急増しております。

これまで福岡市立学校で感染が確認された児童生徒のうち、**約7割が家庭内での感染**となっており、今後のさらなる感染拡大を予防するためには、保護者の皆さまのご協力が欠かせません。

各家庭におかれましては、お子さまが互いにより安心して登校できるように、感染症対策の徹底を図っていただきますようお願いいたします。

### 1 毎朝の健康観察

- ・登校前に、**毎朝の体温測定**、健康チェックをお願いします。
- ・体温測定などの結果を健康チェック表に記入し、登校後、担任の先生に提出してください。



### 2 体調が悪いときは自宅で安静に

- ・お子さまの体調が普段と少しでも異なる場合には、無理をせず**自宅で安静に**してください。  
また、発熱等の風邪症状が見られる時には、**かかりつけ医等の身近な医療機関を受診**しましょう。  
※病院を受診する前に、まずはかかりつけ医や新型コロナウイルス相談ダイヤル（092-711-4126）に電話で相談してください。
- ・同居の家族に発熱等の風邪症状が見られる場合も登校を控えましょう。
- ・お子さまや同居の家族の体調不良等により登校を控える場合には、出席停止となります。（欠席扱いにはなりません。）



### 3 PCR検査を受ける場合や濃厚接触者になった場合は学校へ連絡を

- ・お子さまや同居のご家族が新型コロナウイルスに感染しているかどうかを確認するための検査（PCR検査、抗原検査など）を受ける場合や、保健所から濃厚接触者に指定された場合は、**必ず学校へ連絡**をお願いします。（その場合は、原則として出席停止となります。）
- ・また、**お子さまの陽性が判明した場合には、土日祝日の場合も、速やかに学校まで連絡をお願いします。**



### 4 こまめな手洗い

- ・帰宅時や食事の前、トイレの後など、こまめに石けんで手を洗いましょう。
- ・必要に応じて、手や指の消毒を行いましょう。



### 5 正しいマスクの着用を

- ・身体的距離が十分にとれないときや換気が不十分と思われる場などでは、原則としてマスクを着用しましょう。
- ・また、マスクの着用方法によって効果に違いが生じることから、正しい方法（鼻と口をおおう、すき間をなくす）で着用しましょう。
- ・なお、国によると、一般的なマスクでは、不織布マスクが最も高い効果を持ち、次に布マスク、その次にウレタンマスクの順に効果があるとされています。